



2024年11月20日

日本鉄道労働組合連合会

第 4 6 回 I T F 世 界 大 会 に 参 画

— WE MOVE THE WORLD — 世界を動かす交通運輸労働

I T F（国際運輸労連）は10月13日から19日にかけて、モロッコ・マラケシュ市内において第46回世界大会を開催した。日本からは交運労協に加盟する各産別から約60名が代議員・傍聴者として出席した。J R 連 合 からは、荻山市朗会長、住吉一家国際局長、實地雄大J R 東 海 ユニオン中央執行委員、奥田浩司同関西地本書記長、上村良成J R 西 労 組 中央執行委員長（J R 連 合 副 会 長）、石田原潔同中央執行委員、中村鉄平J R 四 国 労 組 書 記 長、吉田祥司J R 九 州 労 組 中央執行委員長（J R 連 合 副 会 長）の8名が参画した。

I T F 世界大会は5年に1度開催される大会であり、全体会議のほか鉄道・観光・航空など多くの部会で構成され、向こう5年間の運動方針や各国から提出された動議の審議、役員選挙などが実施されている。



住吉代議員（左）、實地代議員（右）

今次大会において、J R 連 合 からの参加者は全体会議のほか、鉄道部会総会及び都市交通部会総会に参加した。10月16日に開催された鉄道部会総会では、住吉国際局長が発言に立ち、福知山線列車事故の教訓を踏まえたJ R 連 合 の安全確立の取り組みを報告するとともに、労働者は安全に働く必要があり、これは世界共通の課題だと訴えた。また、17日に開催された都市交通部会総会では、實地中央執行委員が発言に立ち、カスタマーハラスメントの実態

や日本国内における交運労協の取り組みを紹介したほか、労働者を守るためにもカスハラ防止の世界的なキャンペーンが必要ではないかと問いかけた。

また、I T F 加盟費の増額が提案される中、交運労協の慶島譲治事務局長（J R 連 合 特 別 執 行 委 員）が発言に立ち、「加盟費の値上げについては、自動的に増額するのではなく、各年毎に必要な性を真摯に協議したうえで、理由を添えて実行するべき」と、I T F 執行委員会への丁寧な対応を求めた。

1週間に及ぶ長期間に亘り開催された世界大会において、参加者は各国の代議員らとも交流を深めた。そして、国際連帯を通じて、安全を基礎に、権利を保護し、平等で平和な世界を実現するため、世界の交通運輸労働者が団結して運動することを誓い合った。

